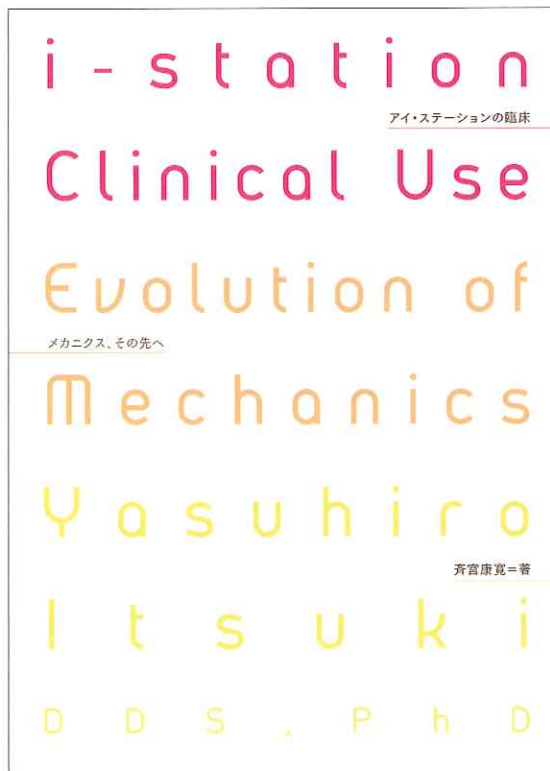


あらゆる歯の移動に自由自在に対応！

新刊！

アイ・ステーションの臨床 メカニクス、その先へ

齊宮康寛 = 著



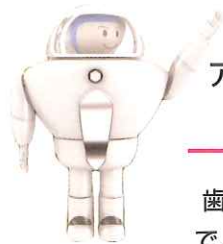
- 規格：A4判、フルカラー、220ページ
 - 発行：東京臨床出版株式会社
 - 発売：株式会社JM Ortho
- 〔定価〕20,000円＋税

〔著者略歴〕

齊宮康寛（いつきやすひろ）

東北大学歯学部卒業
鶴見大学歯学部矯正学教室入局後、神宮前矯正歯科開設、一般社団法人日本先進矯正歯科学会会長、日本矯正歯科学会認定医、専門医
歯学博士、DDS、PHD
World Federation of Orthodontist

〔推薦〕R. Nanda（コネチカット大学歯科矯正学教授）
菅原準二（元東北大学歯学部矯正学教授）



アンカースクリューの課題を 多角的に解決

歯科矯正用アンカースクリューの出現で、矯正治療は大きく変わり、以前では不可能であった治療ができるようになった。しかし、スクリューの普及とともに、脱落、感染・腫張、歯根接触、一方向からの牽引しかできないなど、いくつかの問題点、課題がクローズアップされてきた。

これらの課題に真正面から取り組んだ著者は、数年にわたる試行錯誤と試作品の改善を積み重ね、全く新しいコンセプトのもとに矯正用アンカレジシステムi-stationを誕生させた。

本書の第一部「i-stationの開発背景とコンセプト」では、著者が以前に手がけた症例をもとに、既存のアンカースクリューによる治療上の課題を明らかにするとともに、その反省から生まれたi-stationのコンセプト、構成部材、埋入方法、装置の作製手順が詳細に紹介されている。

また、第二部の「i-stationのメカニクスと臨床」では、精密な術式を用いることなく、あらゆる歯の移動に、同時進行で対応できるi-stationの数々の特徴を、実際の症例を通じて詳説されている。

本書により、i-station開発に至る経緯、中でも、新しいメカニクスについての発想を著者と共有することにより、システムの理解が一層深まり、的確な装置の作製と臨床応用が容易に身につくことは、開発者自身が著した本書ならではの特徴でもある。

●お申込は（株）JM Orthoまたはお出入りのディーラーまで。

即応性を高める開発者の詳細な考察と実践

〔第I部〕 i-stationの開発背景とコンセプト

- 1章 歯科矯正用アンカレッジとは？
—ある日のエピソード—
フロログとしてのi-station開発の経緯
外科矯正治療を頑に拒否する患者との遭遇
矯正用アンカレッジ装置の出現で大きく変わる矯正治療
- 2章 歯科矯正用アンカレッジ装置
—症例でみる問題点と課題—
〔症例〕上下顎前突症例ほか全10症例
- 3章 i-stationの誕生
—アンカースクリューの課題解決に向けて—
アンカースクリューの課題
i-stationの開発をスタート
i-stationの特徴
- 4章 i-station埋入部位の診断
i-station埋入のための必要条件
埋入部位の考察
実際の臨床ケース
- 5章 i-stationの埋入術式
術前準備
手術の術式
術後の注意点
- 6章 i-stationの印象採得と技工
印象採得
技工
精密な印象採得法
第I部を終えるにあたって

〔第II部〕 i-stationのメカニクスと臨床

- 1章 マキシマムアンカレッジ (最大固定)
〔Part 1〕 i-arm square wireによるマキシマムアンカレッジ
〔症例〕上下顎前突症例ほか全3症例
〔Part 2〕 i-arm plateを用いたループメカニクスによるマキシマムアンカレッジ
TMAワイヤーベンディング時の注意点
〔症例〕著しいオーバージェットを伴うハイアングル
上顎前突症例ほか全2症例
- 2章 遠心移動
〔Part 1〕
i-arm square wireを用いた遠心移動
〔症例〕上顎前突症例
〔Part 2〕
スライディングメカニクスによる遠心移動
ループメカニクスによる遠心移動

- 第一大臼歯を基準とした遠心移動
〔症例〕 Angle Class II div.1 症例
- 3章 前歯の側方移動
アンカースクリューを用いた前歯の側方移動
i-stationを用いた前歯の側方移動
〔症例〕 著しい正中偏位を伴う上顎前突症例
- 4章 上顎前歯の圧下
i-stationによる前歯圧下
前歯にクラウンラビアルトルクを入れたときの作用機序
〔症例〕 過蓋咬合、ガミースマイルを伴うAngle Class II div. 2症例
- 5章 臼歯の圧下
i-arm square wireとエラストックを用いた圧下
ループメカニクスによる圧下
〔症例〕 下顎第三大臼歯の水平埋伏を伴う骨格性II級開咬症例
- 6章 臼歯の片側拡大と縮小
通常の拡大、縮小方法
アンカースクリューを用いた拡大方法
i-stationを用いた拡大方法
〔症例〕 片側性臼歯反対咬合を伴うハイアングル上顎前突症例
- 7章 臼歯の近心移動
臼歯の遠心移動
臼歯の近心移動
〔症例〕 上顎右側犬歯欠損のため正中が著しく右側偏位した非
対称症例
- 8章 外科矯正
サージェリーファーストの考え方
〔症例〕 下顎右側偏位を伴う骨格性反対咬合症例
外科シミュレーションの前準備
手術までのプロセス
手術後矯正治療
- 9章 新しい遠心移動メカニクスの考察
これまでの遠心移動方法
遠心移動の詳細な考察
歯を歯体移動する方法
新しいメカニクスによる遠心移動
〔症例〕 正中偏位を伴うAngle Class II div. 1 症例
- 10章 下顎前突
外科治療を回避した難症例の治療法
〔症例〕 下顎の左側偏位を伴う著しい骨格性下顎前突症例
- 11章 i-stationによる診断と治療ゴールの立て方
並べるだけの治療からの脱却—顔のバランスを考えた診断と治療ゴール
診断および治療ゴール
ANBの検証
i-stationによる最終治療ゴール
〔症例〕 骨格性側貌偏位症例 (従来方法とi-station使用例)
〔付表〕 i-station 器材一覧

※内容については一部変更が生じる場合があります。

「アイ・ステーションの臨床 メカニクス、その先へ」 申込書

お名前	フリガナ/
医院名 学校名	
住所 お届け先	電話番号/
ディーラー名	